

インタビューコーナー

インタビューコーナー



住みよい長穂をつくる協議会(昭和 56 年設立)

会長 重國 和男(67 歳)

長穂地区は市街地から約 15 キロの北部に位置する四方を小高い山に囲まれた盆地です。

毎年 6 月に開催される「長穂ほたる祭り」が有名ですが、その他にも平成 24 年度に策定された「長穂夢プラン※」の実現のため、活発な取り組みが行なわれています。これらの活動の主体である「住みよい長穂をつくる協議会」会長の重國和男さんにお話を伺いました。

※夢プランとは・・・地域で暮らす皆さん自身による手づくりの将来計画です。夢プランには、地域の夢、地域の課題や解決方策、将来目標、役割分担等が定めてあります。

【長穂地区はどんなところですか】

中心部に田んぼが広がり、北側には錦川、周囲を山に囲まれ四季を通じて美しい自然に恵まれた地域です。

また、若者から高齢者まで地域住民がお互いに助け合い、たいへんまとまった地域だと思います。



【長穂の風景】

【活動をはじめられたきっかけは何でしょう】

私は長穂育ちですが、高校卒業後 42 年間地域を離れていました。退職後、平成 20 年に長穂に帰り、地域の方々の人情味やふるさとの自然の良さに身を引かれ活動を始めました。

【住みよい長穂をつくる協議会について】

昭和 56 年に心豊かで住みよい長穂をつくるための共通目標を掲げ、自治会の皆さん、各種団体の関係者によって組織運営されています。

【どのような活動を行っていますか】

① 美観・景観対策として、ホタルの養殖やホタルが生息する筋地川の清掃を定期的に行っています。また、長穂地区長寿会連合会を中心に花壇の整備を進めています。

長穂には、ほぼ中心部に亀山という小さな小山があります。山にはお宮様やお地藏様、お墓等も沢山ありますが、この亀山を整備、景観を良くし、地域の皆さんの憩いの場となればと思い、桜や椿等の植樹を進めています。



【筋地川清掃】



【ルバーブの栽培】

② 地域の皆さんが元気に生きがいを持って暮らせるように、軽トラ市や特産品の開発に取り組んでいます。軽トラ市は平成 24 年から始め、夏と秋の年 2 回のペースで開催しています。旧長穂小学校のグラウンドに軽トラを並べて、地域内で取れた野菜等を販売していますが、地域外からたくさんのお客さんが来られます。人気のある軽トラは、午前中で売り切れになるほど盛況です。また、ルバーブという野菜をつかったジャムなどの特産品開発にも取り組んでおり、地域全体にルバーブの栽培が広がって欲しいと思います。

③ 高齢化対策の一環として、地域高齢者サロンや高齢者支援(草刈り等)のためのお助け隊を立ち上げました。地域高齢者サロンは、会の女性を中心となって地区ごとに自治会館などを利用して開催しています。まだ不定期の開催ですが、一緒に昼食を食べたり、市の保健師による健康相談があったりと参加された高齢者の方に大変喜んでいただいています。お助け隊は、申込みがあった高齢者家庭にお伺いして、ゴミ出しや電球の交換、草刈りなどの困り事を解決するためのお手伝いをします。料金は、燃料代などの実費程度です。

④ 長穂地区で一番大きなイベントは毎年6月に開催するホタル祭りです。

このホタル祭りは昭和59年に泥落としの地域行事として始まったものですが、年々規模が大きくなり、毎年4~5千人近いお客さんが来られるようになりました。ホタルのくす玉割りや会場周辺に設置する竹灯籠、福引き(特賞は沖縄旅行)等が人気なようです。



【ホタル祭り】

その他にも11月に開催する長穂産業文化祭、長穂青年部主催の「泥んこ祭り in 長穂」も大人気です。「泥んこ祭り in 長穂」は、夏休み期間中に行う地区内の休耕田を活用した参加型のイベントで、水を張った田んぼでバレーなどが行われます。

長穂地区で行われるイベントは、子供からお年寄りまで地域住民が一体となって取り組んでいます。特に長穂青年部は、自らイベントを開催するほか、長穂地区すべてのイベントに取り組んでくれます。

【苦勞していることは何ですか】

皆さんによくしていただけるので活動での苦勞はありません。しかし、会長職はそろそろ後継者に譲りたいですね！

【やりがいを感じること、一番うれしかったことは何ですか】

地域の皆さんが目的に向かって取り組んでいただけることにやりがいを感じますね。また、7月に須々万中学校で地域活動についての話をする機会があったのですが、子供達から話の内容の感想文をいただきました。「地域活動って素晴らしい、地域活動に感銘を受けた、自分も大人になったら地域活動に取り組みたい」などの感想が大半で嬉しくて涙が出ました。

【どんな地域にしたいですか】

皆さんが仲よく、心豊かに暮らせる地域。子供や若者が「長穂に住みたい、長穂を一旦出ても又長穂に帰って来たい。」と思うような地域になったらいいと思います。

